

委員構成（敬称略）

柘植 誠子（短期大学准教授）、花田 純子（地元民生委員児童委員協議会委員）
畑 克延（地元中学校教頭）、堀 聖二（地元中学校首席）、永田 博和（本校同窓会会計）
武田 由美子（本校PTA会長）、伊藤 義孝（本校校長）、山下 一郎（本校教頭）
尚山 信夫（本校教頭）、岩下 幸司（本校事務長）、佐々木 哉司（本校首席）、
札木 理（本校首席）

○日時・場所

第1回 令和元年6月24日（月）14時～16時30分 ・ 本校校長室
（14時25分～15時15分 授業見学）

○出席者（敬称略）

花田 純子、畑 克延、堀 聖二、永田 博和、武田 由美子
伊藤 義孝、山下 一郎、尚山 信夫、岩下 幸司、佐々木 哉司、札木 理
（記録）山下 幸将、（記録）迎田 祐輔

1. 副会長挨拶

2. 校長挨拶

3. 議案

（1）平成30年度の状況について

【質問】入学者選抜の志願者の大きな定員割れの原因について、考えられることは。

【回答】志願者数について、29年度は定員割れであったが、30年度は二次選抜で定員を満たしていた。一般入学者選抜の3年連続定員割れが影響し、廃校するかもしれないと考えられたのかもしれない。

【質問】地域住民からのクレームはないのか。

【回答】通学に関するものがほとんどである。生徒が道いっばいに広がって歩いたり、自転車通学におけるマナーに関するものが多い。登校時、正門や通学路の要所で教員が立ち番をし、生徒に注意している。

【意見】この件に関しては、島本高校の生徒のマナーが以前に比べてとてもよくなっている。

（2）令和元年度 学校経営計画について

【質問】いじめの認知件数はどのくらいか、また認知のきっかけについて、どのように把握したか。

【回答】いじめが原因で不登校となり重大事態となったものがあつたが、いじめ対策会議を開き、生徒にとって一番安心して登校できる環境を探していった。

【質問】 スクールカウンセラーの配置について、高校ではどのようになっているか。

【回答】 本校での配置は年 10 回。またスクールカウンセラーの他に支援会議が中心となって、相談室を生徒に開放する島本カフェも行っている。生徒と教員とが人間関係を作りながら、相談する雰囲気づくりをしている。

【質問】 定員割れに対する抜本的改革について、何か考えられるか。

【回答】 保育専門コースの更なる充実に取り組む。また、島本町とも連携し、小学校との取組みを増やしている。校外のイベントへ参加する軽音楽部やダンス部の機会は減っている。

【質問】 働き方改革における時間外勤務の状況について、教えていただきたい。

【回答】 出退勤スリットで確認し、月当たりの残業が 45 時間を超えそうな見込みの教員にはプリントを配付している。先月は、月当たりの時間外勤務が 45 時間以上のものが 3 名いた。職員には 1 日の超過勤務を 2 時間以内に、また朝は 7:30 以降に出勤するように呼びかけている。

令和元年度 学校経営計画について、この場で承認

(3) 令和 2 年度教科書選定について

特に意見なし

4. その他

特になし

5. 質疑応答および意見交換

授業見学に関する感想

【意見】 1 年生の授業について、生徒は違うことをしゃべっているわけではないが、少しざわざわしていた。「分かる人に教えてもらう」という形であったが、授業が落ち着かない懸念がある。

【意見】 音楽室のピアノの台数がとても充実している。保育の授業で成果を出せたらいいと思う。生徒にとって高校のうちにあれだけピアノを習えるのは恵まれている。学校として、より保育に特化してもよいのでは。フードデザインは将来の自立に向けてのカリキュラムになっており、また、書道の授業は本格的な作品作りに取り組んで専門的なことができている。

【回答】 保育専門コースは 1 クラスで認可されており、増やせない。1 年生は 160 人中 39 人が保育専門コース希望で、ニーズの高さが伺える。また、空き教室に地元の 0 歳児に来てもらうなど取組みを行い、島本町の待機児童問題にも連携できたらと思う。

【意見】校内の廊下・階段がきれいで掃除が行き届いている。落ち着いている生徒が多いのが印象的であった。先生方の日頃の地道な努力の成果だと思う。学校の評価につながるのが残念。先生方のモチベーションが心配である。

【意見】授業において発言の多い生徒は、クラスの中でどのような存在なのか。

【回答】発言の多い生徒はさまざまで、全てのクラスで同じ傾向ではない。子どもたちの底上げのためチューター制の実施を予定している。放課後の講習だけでなく、個別の対応をしていく。1、2年生で数名の生徒が補習の呼びかけに食いついてきた。生徒同士の学び合いにも期待している。

【意見】テスト前の課題学習ということで、プリント配付の形式が多かった。自習は授業ではない。1時間の授業の中に、その時間なりの狙いがあるはず。

【回答】教師から生徒への問いかけが一問一答型になったら、一教師と一生徒との関係で完結してしまう。グループワークについても、形式的なものにならないよう、一部の生徒のみならず、全員の生徒にとっての深い理解のための授業にしていきたい。

【質問】近頃、凶悪な事件が起きたり、災害が起こったりしている。学校休業日における緊急時の対応についてはどのようにされているか。

【意見】中学校では、地震などには町内在住の先生で対応した。先日の警察官が交番で刺され拳銃が奪われた事件の時は、メールで発信した後、メールに登録漏れの保護者には電話をしている。

【意見】安否確認のため、グーグルの機能を利用している。教員については連絡網で連絡する。教頭と部活動顧問で話し合い、ホームページに載せる。

【回答】今回、高校では、教育庁からの指示が出るのが小学校・中学校より遅かった。

【意見】保護者としては、早く正確な情報がほしい。

次回の学校運営協議会の予定

令和元年 11 月 18 日（月） 予定